

期間限定「長野カフェ」出店事業

FUKUOKA長野カフェ で まつもと空港へTake off



H20 TOKYO長野カフェ

- 新宿駅南口の「トラベルカフェ新宿サザンテラス店」で1ヶ月間実施
- 集客数来店者数
期間全体 16,257人 1日平均 524人

H21 OSAKA長野カフェ



- トラベルカフェ江坂東急ビル店で1ヶ月間実施
- 集客数来店者数
期間全体 14,523人 1日平均 427人

- 20～30代を主とした若い消費者に長野県情報をPR
- 直接来店者に加え、各種マスコミでも取り上げられ、相乗効果を得る
(TV局、県内TV・ラジオ、タウン情報誌、フリーマガジン、web版タウン情報等)
- メルマガ「週刊信州」による継続的な情報提供や、WEBを通じた「お取り寄せ」への誘導

過去のノウハウを活かし、空路のある福岡でも開催

FUKUOKA長野カフェ



- 場所 トラベルカフェ博多グリーンホテル天神店
(福岡市中央区大名2-9-11 博多グリーンホテル天神1F)
- 席数 店内59席(店内36席・テラス23席)
- 営業 10:00～23:00
- H23事業費 7,240千円(雇用基金、一般財源)



- 食の提供
長野県のこだわり食材を用いた軽食や原産地呼称管理制度認定酒類の提供
- 装飾
信州の風景を、大型ディスプレイ、壁面、テーブル面等装飾して、信州の自然の豊かさをPR
- 松本空港のPR
福岡便の利用促進に向けた取組(観光ツアーの提案、クルーによるPR等)
- 人材の配置
長野県の魅力をアピールする「信州案内人」を配置(2名)

長野県の魅力
と新たな一面
をアピール

新たな長野県
ファンづくり

信州まつもと
空港の福岡線
の搭乗率向上

大都市の消費者に「選ばれる長野県」へ

1 目的

子どもをもち父親になる人たちに対して、父親になる心積もりや体験談を伝える「イクメン手帳」（父子手帳）を制作・配布することで、父親たちに育児の楽しさを伝え、育児参加を促す。

2 掲載内容（例）

妊娠初期から幼児期（小学校就学前）くらいまでの子を持つ父親向けに、子育てに役立つ以下のような内容を盛り込む。

➤ 実際の掲載内容や実施方法については、プロポーザル方式によりアイデアを募る

① 育児のノウハウ	● 出産前後の妻へのサポート ● ミルク・離乳食の作り方 ● お風呂の入れ方 ● オムツの交換方法 ● 事故予防法 ● ふれあい遊び ● しつけ・ほめ方・しかり方	[イメージ]	お風呂はパパが… 生まれたばかりの赤ちゃんは、ぐにやぐにやとからだが柔らかく、抱っこするのもビクビクかも知れませんが、大きなパパの手でしっかり支えてもらえると赤ちゃんも安心します。
② 子育て応援情報	● 育児休業制度の内容 ● 育児相談窓口の紹介 ● 緊急時の医療機関 ● 親子イベント情報 ● お出かけガイド ● 絵本の紹介	[イメージ]	パパも育児休業が取れます！ 育児休業は、パパ、ママを問わず、子どもが満1歳になるまでの希望する期間に取ることができます。出産後8週間以内なら、ママが専業主婦や産後休業中でもパパの休暇取得はOKです。
③ 先輩パパからのアドバイス	⑤ 親子の成長記録 ● 誕生した日や初めて歩いた日の記録 ● 子どもへのメッセージ欄		
④ 家事の極意			

3 規格・発行部数

30～40ページ程度、A5サイズ・カラー

20,000部程度 （参考）県内の年間出生数 約18,000人

4 配布対象者・配布方法

配布対象者：・初めて父親になる者

・第2子以降が生まれることとなる父親

・その他希望者

配布方法：市町村の協力を得て、母子手帳を発行する際に合わせて交付してもらうなど、有効に活用してもらう。

5 予算要求額

委託料 4,127千円 （安心こども基金）

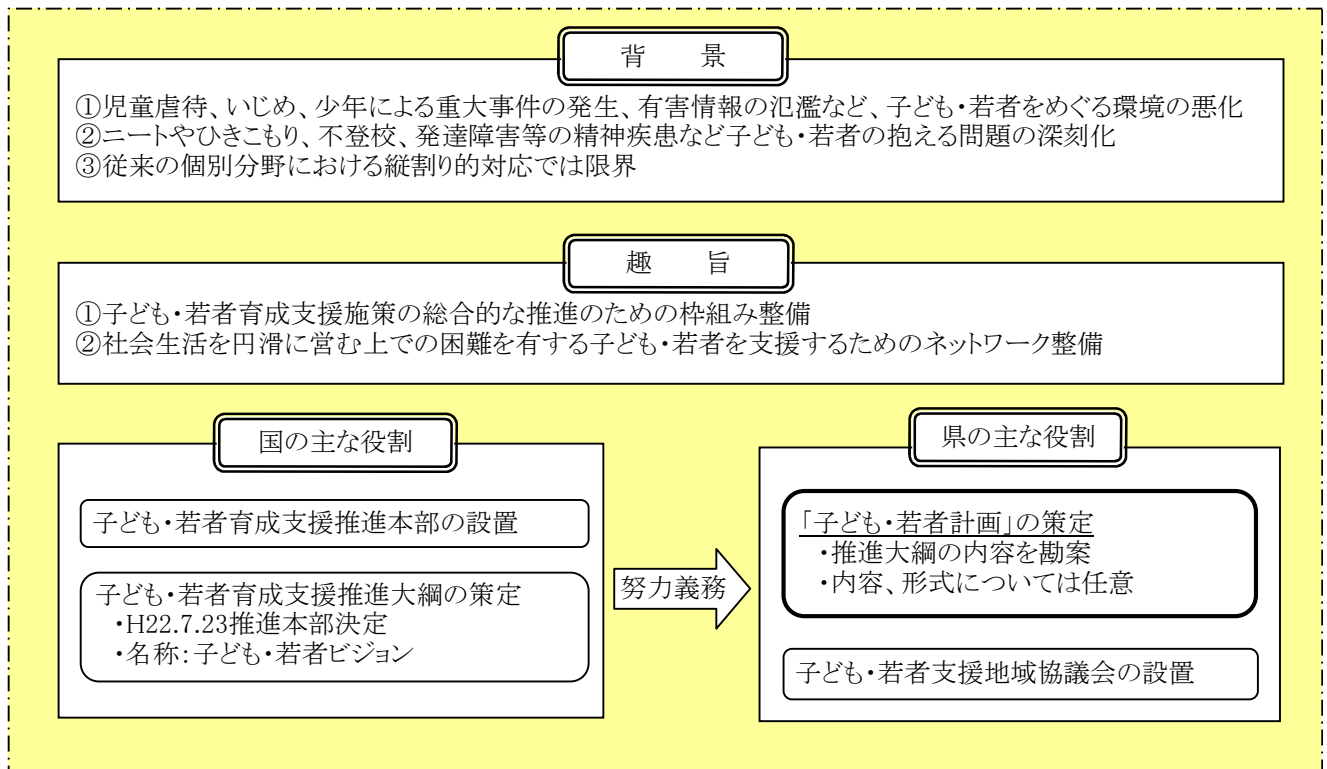
新 長野県子ども・若者計画策定事業費

生活文化課

1 趣 旨

平成22年4月から、国において「子ども・若者育成支援推進法」が施行されたため、同法が規定する都道府県「子ども・若者計画」を策定し、県内の行政、関係機関、NPO等と連携を深め、子ども・若者支援の総合的な推進を図る。

2 子ども若者育成支援推進法の概要（こども・若者計画を中心に）



3 長野県子ども・若者計画の概要（案）

(1) 対象者

主として学童期（小学生）以降から青年期（30歳未満）、施策によっては、40歳未満まで

(2) 対象期間

平成24年度から平成28年度まで（5年間）

(3) 主な内容（国の「子ども若者ビジョン」から抜粋）

施策の柱	主 な 分 野
すべての子ども・若者の健やかな成長を支援	・自己形成支援 ・社会形成・社会参加支援 ・健康と安心の確保 ・職業的自立、就労支援
困難を有する子ども・若者やその家族を支援	・困難な状況ごとの取組（ニート・ひきこもり、不登校、障害等） ・子ども・若者の被害防止・保護（児童虐待、いじめ、児童買春・ポルノ対策等）
子ども・若者の健やかな成長を社会全体で支えるための環境整備	・環境整備（家庭・学校・地域の関係、子育て支援、有害環境への対応等） ・大人社会の見直し（雇用と労働のあり方の見直し等）

4 予算要求額

4, 3 5 0 千円

第3次長野県男女共同参画計画推進事業費

人権・男女共同参画課

1 趣 旨

現在策定を進めている「第3次長野県男女共同参画計画」の重点プロジェクトに取り組み、計画の着実な推進を図る。

2 第3次長野県男女共同参画計画(素案)の概要

- (1) 計画期間 平成23～27年度
- (2) 重点プロジェクト
 - ① 女性の活躍支援
 - ② ワーク・ライフ・バランスの推進
 - ③ 県民との協働による男女共同参画意識の醸成
- (3) 基本目標

「政策・方針決定過程への女性の参画の拡大」等11項目

※ 今後、計画案に対するパブリック・コメントを実施し、今年度中に策定

3 予算要求額 18,276千円

4 主な事業

事業名	事業内容	要求額
⑧ 女性のためのチャレンジ支援事業 (男女共同参画センター事業)	起業や再就職などに必要な知識や心構えを学ぶ講座を開催するとともに、具体的な相談に応じ専門的なアドバイスや情報提供を行う。 1 講座内容 起業・再就職の心構え、ビジネスプランニング、自己プロデュース法等 2 相談・情報提供 起業、再就職、キャリアアップのための相談に応じ、アドバイスや情報提供を行う。	千円 133
男女共同参画地域づくり講座	自治会や各種団体等の地域組織において、男女共同参画の理念を普及し、活力ある地域社会を構築するために、男女共同参画の視点を活かした地域づくりの理念や手法等を学ぶ講座を開催する。 ・対 象 自治会・公民館等の役員、市町村議会議員、行政職員等 ・開 催 3回(広域単位で1回、町村単位で2回)	182
⑧ 男性のライフモデル提案事業 (男女共同参画センター事業)	育児や家事、介護に積極的に関わる男性、地域組織で活躍する男性等の事例を収集、紹介し、男性が固定的な性別役割分担意識から脱却するための意識啓発と、男性の家庭生活や地域生活への参画を進めるための広報を行う。 ・活動事例集の作成配布 ・県ホームページで情報発信 ・活動事例をイベントや各種講座で発表	2,953 (雇用基金活用事業)
男女共同参画社会づくり県民協働事業	県民の男女共同参画意識の高揚を図るため、開催地の市町村、県男女共同参画推進県民会議、県の共催により啓発イベントを開催する。 1 男女共同参画フェスティバル 市で開催 基調講演、3次計画推進シンポジウム等 2 男女共同参画地域フォーラム 町村で開催 講演、3次計画概要説明、地域の取組事例発表等	729